



デュランタ

常緑・半落葉／低木／木本植物
／外来種・園芸品種



科名 クマツヅラ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い

5～10月に、青紫の花をたくさんつけ、枝垂れるように咲く。よく植えられているのはデュランタ・レペンス。タカラヅカは、白い縁取の花、ライムは明るい黄緑の葉が美しい園芸品種。原産地の熱帯では常緑だが、寒いと落葉する。また、気温が高いと通年開花し続ける。



Memo

当初、観葉植物として室内で楽しまれていたが、関東地方以西では戸外で生育し、越冬している。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
花 期						■								
果 実		(花後、花殻を取り除く)												
紅 葉														
施 肥		(緩効性肥料がよい) ■												
剪 定													■	

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壌	乾		○	湿
寒 さ	強		○	弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○					

ポイント

日当たりと水はけのよい場所を好むが、強い日差しは葉焼けを起こすので配植に注意。暖地では生育旺盛で生垣などにも配植できる。霜の降りない場所では、多少落葉するが戸外で越冬する。

剪 定

花が終わったら枝先を切り戻せば、再び花をつける。自立しにくいので支柱で支持し、伸びすぎた枝を切り戻し樹形を整える。樹形が乱れたら、花の終わった晩秋に強剪定するとよい。

病虫害

病虫害は少ない。